

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（御荘～内海）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城 至：愛媛県南宇和郡愛南町 柏	延長	7.6 km		
<p>事業概要</p> <p>宿毛内海道路（御荘～内海）は、四国横断自動車道の一部を構成する道路で、愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城から同町柏に至る延長7.6kmの自動車専用道路である（四国横断自動車道は徳島県阿南市から高知県四万十市に至る阿南四万十線と愛媛県宇和郡愛南町から愛媛県大洲市に至る愛南大洲線で構成される高規格道路である）。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>当該区間の整備により、南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の輸送を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、都市部や空港、高次救急医療機関等へのアクセス向上により、愛南町の観光振興や地域産業、緊急搬送などの医療活動を支援するものである。</p>					
全体事業費	約430億円	計画交通量	約4,600台/日		
<p>事業概要図</p>					

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.4 (0.3)	総費用 14,124億円 (事業費: 12,961億円 維持管理費: 923億円 更新費: 241億円)	総便益 19,603億円 (走行時間短縮便益: 16,738億円 走行経費減少便益: 2,305億円 交通事故減少便益: 560億円)	基準年 令和3年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.4 (交通量 -10%)	B/C=1.4 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=1.4 (事業費 +10%)	B/C=1.4 (事業費 -10%)		
		事業期間変動	B/C=1.4 (事業期間 +20%)	B/C=1.4 (事業期間 -20%)		
事業の影響	評価項目		評価	根拠		
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	注目すべき影響はない。		
		事故対策	-	注目すべき影響はない。		
		歩行空間	-	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	◎	<p>【安全・安心な医療アクセスの確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛南町から第三次救急医療機関への搬送時間短縮や安静搬送により、患者への負担を軽減。 [愛南町役場から市立宇和島病院までの搬送時間が短縮] 現況 39分 ⇒ 整備後 37分 (約2分短縮) [愛南町、高知県宿毛市の第三次救急医療圏域の60分圏域人口カバー率が増加] 現況 約21,300人 (50%) ⇒ 整備後 約22,600人 (53%) [国道56号（愛南町御荘平城～柏）のR<150mのカーブ区間減少] 現況 29箇所 ⇒ 整備後 0箇所 		
		地域経済	◎	<p>【観光振興や産業振興に寄与】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動時間短縮が図られ、都市部との広域ネットワークの拡大により、販路拡大、観光振興に寄与。 [松山空港から愛南町役場までの所要時間が短縮] 現況 116分 ⇒ 整備後 114分 (約2分短縮) 		
		災害	◎	<p>【防災機能の強化・災害に強いまちづくりを支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波浸水する国道56号に代わり、浸水しない当該路線が円滑な救助活動に寄与。 [愛南町御荘平城～柏間を移動する経路における津波浸水予測区間の延長] 現況 約2.3km (国道56号経由) ⇒ 整備後 0km (宿毛内海道路（御荘～内海）経由) 		
環境		-	注目すべき影響はない。			
地域社会	◎	<ul style="list-style-type: none"> 御荘IC周辺の防災拠点を中心に、沿線地域間の連携を強化し、防災まちづくりの促進に寄与。 				
事業実施環境	◎	<ul style="list-style-type: none"> 計画段階評価手続き完了 (H31.2.28) 都市計画決定手続き完了 (R3.12.10) 愛媛県知事や沿線自治体首長より早期事業化を要望 				

採択の理由

費用便益が一体評価で1.4と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、宿毛内海道路（御荘～内海）の整備により防災機能の強化・災害に強いまちづくりを支援し、観光振興や産業振興支援、安全・安心な医療アクセスの確保など事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※B/Cの上段はいよ小松 JCT～高知 JCT を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。

関係する地方公共団体等の意見

【愛媛県知事】
事業の予算化に同意するとともに、下記のとおり回答します。
一般国道56号（四国横断自動車道）「宿毛内海道路」は、南海トラフ地震時等の大規模災害発生時における広域避難や迅速な救援活動、円滑な緊急輸送などを支える「命の道」として、産業や観光の振興を図る上で重要な役割を果たす「地方創生の道」であることから、県民一同、早期完成を待ち望んでいます。
本県としましては、埋蔵文化財調査の体制確保や、用地取得、トンネル工事等に伴い発生する建設発生土の処分に係る調整等に最大限協力いたしますとともに、愛南町の御荘IC（仮称）ではアクセス道路の整備を推進することとしており、事業が円滑に推進されるよう、地元沿線自治体である愛南町と連携し取り組みます。
また、御荘IC（仮称）付近への防災休憩施設を計画するなど、高速道路を活かす地方の取組を加速させています。
つきましては、「宿毛内海道路」の「御荘～内海」間の令和4年度新規事業としての予算化に特段の配慮をお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

- 費用対便益：便益が費用を上回っている。
- 手続きの完了：計画段階評価手続き完了（平成31年2月28日）、都市計画決定手続き完了（令和3年12月10日）

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
<p>南海トラフ地震による深刻な被害が予測される地域において、国道56号の代替路として円滑な救援活動・物資搬送を支援するとともに、広域観光周遊ルートを活用した地域の観光振興や養殖マダイに代表される地域産業支援、高度救急医療などを行える第三次救急医療機関への搬送時間短縮などに寄与するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 当該道路に並行する国道56号は南海トラフ地震の津波（最大津波高9m）により約3割が浸水。 愛南町が整備する防災休憩施設は、隣接する松軒山公園と連携し、津波一時避難場所や災害時の進出・活動拠点として位置づけられており、拠点からいち早く国道56号を啓開し愛南町全体へ救援活動・物資輸送を行うため、防災休憩施設へ接続する緊急輸送道路の確保が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・圏域の安全・安心を支える基盤として必要不可欠なインフラである四国横断自動車道、高知東部自動車道及び阿南安芸自動車道等の整備の推進による四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ※四国地域新広域道路交通計画（R3.6） ・規格の高い道路と一般国道等の一般道とのダブルネットワークを構築、規格の高い道路のミッシングリンクの解消を進めて多重性・代替性を確保する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 愛南町には高度救急医療などを行える救急医療機関がなく、重篤患者の救急搬送は隣接する宇和島市、宿毛市の高次救急医療機関に依存。 当該地域唯一の緊急輸送道路である国道56号を利用しているが、御荘IC～内海ICの並行区間には、急カーブが多数あり、患者の負担となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・自然災害発災後の救助・救急、医療活動等やサプライチェーンの寸断回避を図るため、四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ・地域に即した「コンパクト+ネットワーク」の構築を図るため、都市の生活を支える都市機能（医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業）をまちの拠点となるエリアへ誘導する。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県全体の観光客数は増加傾向であるが、愛南町の観光客数は減少傾向であり、県都松山市からの周遊観光促進には速達性・定時性の確保が必要。 愛南町では全国生産量トップの「河内晩柑」等の農産業や全国生産量2位の「養殖マダイ」等の水産業が盛んだが、急カーブや縦断勾配など線形不良区間を通過するため、速達性などの輸送効率が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・広域観光周遊ルートの形成により複数の県に跨って、テーマ性等を持った一連の魅力あふれる観光地をネットワーク化。 ※えひめ農林水産業振興プラン2021（R3.3） ・マダイ、柑橘類等のブランド化、販売促進、持続的な農林水産業の発展を目指す。
その他		

事業の有効性									
<p>・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価がCランク→Bランクに改善するとともに、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。</p> <p>・また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成されるとともに、速達性向上による観光振興や地域産業支援、高度救急医療などが行える高次救急医療機関への搬送時間短縮に寄与するなど、有効性の高い事業と評価できる。</p>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	愛媛県庁	愛南町	72 (5)	0.72 [C] 〔0.81〕 [C]	0.31 [B] 〔0.81〕 [C]	932.32 (27.33)	0.21 (0.05)	0.46 (0.00)	◎ (○)

事業の効率性
<p>・計画段階評価手続き完了（平成31年2月28日）、都市計画決定手続き完了（令和3年12月10日）</p>

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、いよ小松JCT～高知JCTを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。